

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-098994

(43)Date of publication of application : 16.04.1996

(51)Int.Cl.

D06F 58/00  
D06F 58/02

(21)Application number : 06-261399

(71)Applicant : TOKYO GAS CO LTD

(22)Date of filing : 30.09.1994

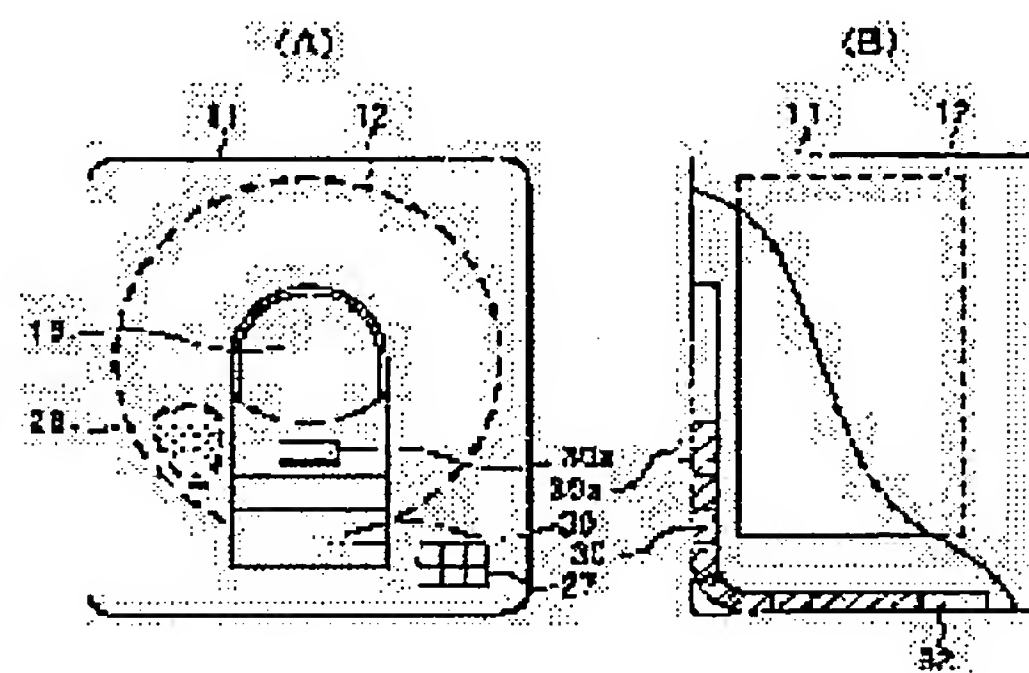
(72)Inventor : KOBAYASHI KOHEI  
MASUKO TOKUSHIGE  
TAKITA YUKO

### (54) CLOTHING DRIER

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent leaving-behind of clothing even when a clothing drier is arranged in a comparatively high position, and easily take in and out the clothing even in a narrow place.

CONSTITUTION: When clothing is put in a drum 12, a grip 30a of a sliding door 30 is pulled down. Therefore, a part of the door 30 gently bends along a front lower side end parts of a housing 11, and is housed in a door housing part 32, and a clothing taking in and out port 13 is put in a half opening condition from a fully closed condition. In this condition, even if a large quantity clothing is inputted, the clothing does not fall over to this side. When drying finished clothing is taken out of a drier, the grip 30a is lowered, and the door 30 is put in a fully opening condition. At this time, since the whole clothing taking in and out port 13 is put in an opening condition, a user can look at it up to a bottom part of the drum 12, so that leaving-behind of the clothing is eliminated.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-98994

(43) 公開日 平成8年(1996)4月16日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
D 0 6 F	58/00	A		
	58/02	R		

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平6-261399

(22) 出願日 平成6年(1994)9月30日

(71) 出願人 000220262

東京瓦斯株式会社

東京都港区海岸1丁目5番20号

(72) 発明者 小林 孝平

東京都荒川区南千住3-28-70-810

(72) 発明者 増子 徳茂

埼玉県所沢市向陽町2174C-608

(72) 発明者 瀧田 優子

東京都練馬区大泉町5-22-8

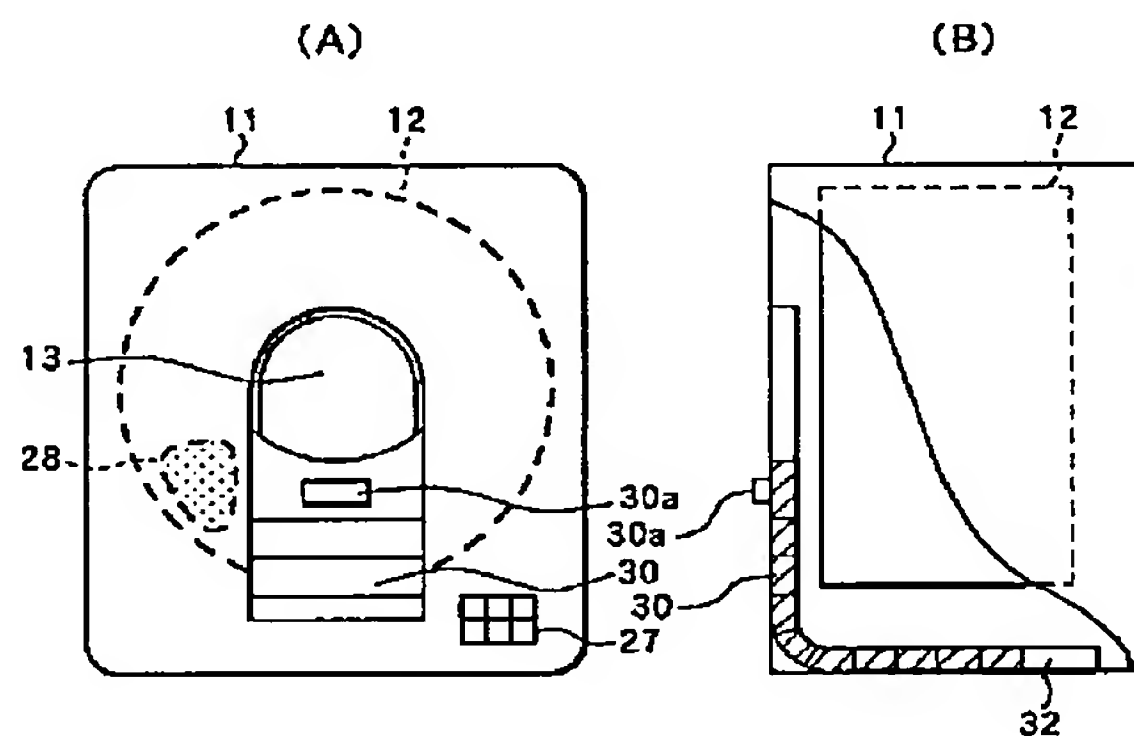
(74) 代理人 弁理士 藤島 洋一郎

(54) 【発明の名称】 衣類乾燥機

(57) 【要約】

【目的】 比較的高い位置に設置された場合でも、衣類の取り残しを防止することができると共に、狭い場所であっても容易に衣類の出し入れをすることができるようにする。

【構成】 ドラム12に対して衣類を入れる際には、スライド式の扉30の把手30aを引き下げる。これにより扉30の一部がハウジング11の前下辺端部に沿ってなだらかに屈折して扉収納部32に収納され、衣類出し入れ口13は全閉状態から半開状態になる。この状態では多量の衣類を投入しても、衣類が手前にこぼれ落ちてくることがない。乾燥の終了した衣類を乾燥機から取り出すときには、把手30aを下降させて扉30を全開状態とする。このとき衣類出し入れ口13全体が開放状態になっているため、使用者はドラム12の底部まで見ることができ、衣類の取り残しがなくなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、

この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられた開閉式の上扉と、

前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して前記上扉とは独立に設けられた開閉式の下扉とを備えたことを特徴とする衣類乾燥機。

【請求項2】 前記上扉および下扉には、下扉を開けると同時に上扉も開状態とするための係合部が設けられたことを特徴とする請求項1記載の衣類乾燥機。

【請求項3】 内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、

この衣類出し入れ口に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置と全領域を開放する位置との間を移動可能に設けられたスライド式の扉とを備えたことを特徴とする衣類乾燥機。

【請求項4】 前記扉を、前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置、前記衣類出し入れ口の半領域を開放する位置、および前記衣類出し入れ口の全領域を開放する位置それぞれの位置に係止させるための係止機構を更に有することを特徴とする請求項3記載の衣類乾燥機。

【請求項5】 前記扉を、前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置と全領域を開放する位置との間の任意の位置に係止させるための係止機構を更に有することを特徴とする請求項3記載の衣類乾燥機。

【請求項6】 内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、

この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って上方向に移動可能に設けられたスライド式の上扉と、

前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って下方向に移動可能に設けられたスライド式の下扉とを備えたことを特徴とする衣類乾燥機。

【請求項7】 内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、

この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って水平方向に移動可能に設けられたスライド式の上扉と、

前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して設けられ

ると共に、前記ハウジングに沿って水平方向に移動可能に設けられたスライド式の下扉とを備えたことを特徴とする衣類乾燥機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ガスの燃焼などにより衣類の乾燥を行う衣類乾燥機に係り、特に高い位置や狭い場所の扉の開閉に不便な位置に設置される衣類乾燥機に関する。

## 10 【0002】

【従来の技術】従来、この種の衣類乾燥機は、図11に示したような構成となっている。この衣類乾燥機は、ハウジング1内に衣類を収納して回転するドラム2を備えている。ハウジング1の前面中央部には、衣類を出し入れするための円形の衣類出し入れ口3が設けられ、この衣類出し入れ口3に対応してハウジング1には開閉式の扉4が設けられている。この扉4は把手4aの操作により軸部4bを中心にして開閉されるようになっており、衣類出し入れ口3を通してドラム2内に収容された衣類は衣類出し入れ口3の下方に設けられた吹き出し口5を通して導入される熱風により乾燥される。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来の衣類乾燥機では、衣類取り出し口3はハウジング1の前面中央部に設けられ、その形は円形またはそれに近い形をしており、扉4は把手4aを手前に引っ張ることにより開ける構造となっていた。

【0004】しかしながら、この種の衣類乾燥機は、通常、洗濯機の上に設置されることが多く、扉4および衣類取り出し口3は使用者の目の位置に対して比較的高い位置となる。このため従来構造の乾燥機では、衣類を取り出す場合に、ドラム2の下方（底部）が見えにくく、衣類を取り残すことがあるという問題点があった。

【0005】また、この種の衣類乾燥機は浴室の脱衣場やベランダ等、比較的狭い場所に設置されることが多く、手前に引く形で開閉する開閉式（ドア方式）の扉3ではスペースの制限から扉3の開閉に支障が生じたりするという問題点があった。

【0006】本発明はかかる問題点に鑑みてなされたもので、その第1の目的は、比較的高い位置に設置された場合でも、衣類の取り残しを防止することができる衣類乾燥機を提供することにある。

【0007】また、本発明の第2の目的は、比較的高い位置に設置された場合でも衣類の取り残しを防止することができると共に、狭い場所であっても容易に衣類の出し入れをすることができる衣類乾燥機を提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の衣類乾燥機は、内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部



に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられた開閉式の上扉と、前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して前記上扉とは独立に設けられた開閉式の下扉とを備えている。

【0009】この衣類乾燥機では、上扉と下扉とはそれぞれ個別に開閉可能であり、衣類の収容時には上扉のみを開けて衣類出し入れ口の上半分の領域のみを開放させることができる。このとき下扉は閉じたままであるため、一旦、収容した衣類がこぼれ落ちることはない。一方、乾燥終了後において衣類を取り出すときには、上扉と下扉の双方を開けて衣類出し入れ口の上半分の領域から下半分の領域までのすべての領域を開放状態とすることができる。従って、使用者は衣類出し入れ口の下部領域（すなわち内部のドラムの底部）も見ることができるため、衣類の取り残しがなくなる。

【0010】請求項2記載の衣類乾燥機は、請求項1記載の衣類乾燥機において、前記上扉および下扉に、下扉を開けると同時に上扉も開状態とするための係合部を設けたものである。

【0011】この衣類乾燥機では、下扉を開けることにより同時に上扉も開けることができるので、衣類取り出し時の操作が容易になる。

【0012】請求項3記載の衣類乾燥機は、内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、この衣類出し入れ口に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置と全領域を開放する位置との間を移動可能に設けられたスライド式の扉とを備えている。

【0013】この衣類乾燥機では、上下方向に移動可能なスライド式の扉により衣類出し入れ口の開閉が行われ、衣類の出し入れに応じて衣類取り出し口の大きさを調節できる。

【0014】請求項4記載の衣類乾燥機は、請求項3記載の衣類乾燥機において、前記扉を、前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置、前記衣類出し入れ口の半領域を開放する位置、および前記衣類出し入れ口の全領域を開放する位置それぞれの位置に係止させるための係止機構を更に有する構成としたもので、衣類の出し入れに応じて衣類取り出し口を全閉状態、半開状態および全開状態の3態様に調節できる。

【0015】請求項5記載の衣類乾燥機は、請求項3記載の衣類乾燥機において、前記扉を、前記衣類出し入れ口の全領域を閉鎖する位置と全領域を開放する位置との間の任意の位置に係止させるための係止機構を更に有する構成としたもので、衣類の出し入れに応じて衣類取り出し口を全閉状態から全開状態までの任意の大きさに設

定することができる。

【0016】請求項6記載の衣類乾燥機は、内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って上方向に移動可能に設けられたスライド式の上扉と、前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って下方向に移動可能に設けられたスライド式の下扉とを備えている。

【0017】この衣類乾燥機では、スライド式の上扉および下扉は互いに独立しており、衣類の収容時には上扉のみを上方向にスライドさせて衣類出し入れ口の上半分の領域のみを開放させることができる。このとき下扉は閉じたままであるため、収容した衣類がこぼれ落ちることはない。一方、乾燥終了後において衣類を取り出すときには、上扉と下扉の双方をそれぞれ上下方向にスライドさせて衣類出し入れ口の上半分の領域から下半分の領域までのすべての領域を開放状態とすることができる。従って、この乾燥機を洗濯機の上などの比較的高い位置に設置した場合においても、使用者は衣類出し入れ口の下部領域（すなわち内部のドラムの底部）も見ることができるため、衣類の取り残しがなくなる。

【0018】請求項7記載の衣類乾燥機は、内部に衣類収容部を有するハウジングの前面部に、前記衣類収容部の少なくとも中央部から下端部にわたる領域に対応して設けられた衣類出し入れ口と、この衣類出し入れ口の上半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って水平方向に移動可能に設けられたスライド式の上扉と、前記衣類出し入れ口の下半分の領域に対応して設けられると共に、前記ハウジングに沿って水平方向に移動可能に設けられたスライド式の下扉とを備えている。

【0019】この衣類乾燥機では、請求項6記載の乾燥機とは異なり、上扉および下扉はそれぞれ水平方向にスライド可能であり、衣類の出し入れに応じて衣類出し入れ口を全閉状態、半開状態および全開状態の3態様に調節できる。

【0020】

【実施例】以下、本発明の実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0021】図1ないし図3はそれぞれ本発明の第1の実施例に係る衣類乾燥機の構成を表すものである。この衣類乾燥機は、ハウジング11内に衣類を収納して回転するドラム12を備えている。ハウジング11の前面部にはドラム12に対応して衣類出し入れ口13が設けられている。この衣類出し入れ口13は、ドラム12の中央部から底部にまで延びたほぼ長円状の開口となっている。衣類出し入れ口13の前側には1組の開閉式の扉、すなわち衣類出し入れ口13の上半分の領域に対応して

10

20

30

40

50

設けられた上扉14、および衣類出し入れ口13の下半分の領域に対応して設けられた下扉15がそれぞれ設けられている。

【0022】上扉14は使用者が把手14aを操作することにより軸部14bを回動中心として、また、下扉15は把手15aの操作により軸部15bを回動中心として個別に開閉自在となっている。上扉14はドラム12に対して衣類を出し入れする際に開けられ、一方、下扉15はドラム12から衣類を出す際に開けられ、ドラム12に対して衣類を入れる際には閉じられるようになっている。なお、これら上扉14および下扉15は共に閉じたときには、図示しない扉ラッチ機構により容易に開かないようにラッチされる。

【0023】上扉14および下扉15には、上扉14の下辺端が下扉15の上辺端の外側に重なるようにそれぞれ段部が形成されており、互いに係合部16を構成している。これにより下扉15の把手15aを手前に引くことにより下扉15のラッチのみならず、これに連動して上扉14のラッチをも解除することができ、衣類取り出しの際に下扉15の把手15aを手前にひくだけで、上扉14と下扉15の双方を同時に開けることができるようになっている。

【0024】ハウジング11内のドラム12の下方には、熱風を発生させるためのガスバーナ17が設けられている。下扉15の左方位置にはガスバーナ17で熱せられた空気（熱風）をドラム12内に導入するための吹き出し口28が設けられている。また、ハウジング11内のドラムの背面側には、ガスバーナ17で熱せられた空気（熱風）をドラム12内を通して吸引するためのファン18が設けられている。ドラム12内の衣類から発生した水蒸気を含んだ熱風は、図に矢印（破線）で示したように、ファン18によって吸引され、排気通路19を経て、ハウジング11の上面に設けられた排気口20から排出されるようになっている。

【0025】ハウジング11内の底部にはドラム12およびファン18を回転させるためのモータ21が設置されている。このモータ21の出力軸には2つのプーリ22、23が取り付けられ、一方のプーリ22にはドラム12を回転させるドラムベルト24が掛けられている。他方のプーリ23とファン17の回転軸に取り付けられたプーリ25との間には、ファンベルト26が掛け渡されている。また、ハウジング11の前面右下部には操作パネル27が設けられ、この操作パネル27を通して乾燥機に各種の指示を与えるようになっている。

【0026】次に、本実施例の衣類乾燥機の作用について、図1ないし図3を参照して説明する。

【0027】まず、乾燥対象である衣類をドラム12内に入れるときには、前面の上扉14の把手14aを手前に引いて、図示しない扉ラッチ機構を解除することにより上扉14のみを開け、衣類出し入れ口13から衣類を

ドラム12内に投入する。このとき、下扉15は閉じた状態にしておくことができるため、多量の衣類を投入する場合であっても、衣類が手前にこぼれ落ちてくるのを防止することができる。

【0028】衣類を投入した後、上扉14を閉め、操作パネル27より乾燥動作の開始を指示すると、乾燥動作が開始される。すなわち、モータ21が回転し、その回転力がプーリ22およびドラムベルト24を介してドラム12に伝達され、ドラム12が所定の速度で回転する共にファン18が回転する。一方、ガスバーナ17が点火され、空気を加熱する。ガスバーナ17で熱せられた空気（熱風）はファン18によって吸引されて吹き出し口28よりドラム12内に導入され、内部の衣類を乾燥させる。ドラム12内の衣類から発生した水蒸気を含んだ熱風は、排気通路19を経て排気口20から排出される。

【0029】乾燥が終了した後、衣類をドラム12内から取り出すときには、上扉14および下扉15の双方を、それぞれ把手14a、15aを手前に引くことにより開け、衣類出し入れ口13から衣類を取り出す。なお、前述のように上扉14と下扉15との間には係合部16が設けられているので、下扉15を先に開けることにより同時に上扉14も開けることができ、この場合には一操作によって上扉14および下扉15を同時に開けることができる。そして、このとき上扉14および下扉15の双方が開放状態、すなわち、衣類出し入れ口13の全体が開状態になっているため、使用者はドラム12の底部まで見ることができ、衣類の取り残しがなくなる。

【0030】図4は、本発明の第2の実施例に係る衣類乾燥機の概略構成を表す断面図である。なお、第1の実施例と同一構成要素には同一符号を付してその説明は省略する。

【0031】本実施例の衣類乾燥機においても、第1の実施例（図1ないし図3）と同様に、ハウジング11の前面部に設けた衣類出し入れ口13は、ドラム12の中央部から底部にまで延びたほぼ長円状の開口となっている。そして、本実施例では、この衣類出し入れ口13に対応して設けられる扉をスライド式の扉30としたものである。扉30はフレキシブルな構造で、例えば図示のように長矩形状の板状片を多数相互に屈折可能に結合して構成されるが、その他、可撓性を有する板材で一体に構成してもよい。

【0032】ハウジング11の両側面にはそれぞれ前面から底部にかけてスライド式扉用の案内溝31が設けられ、この案内溝31内を扉30がスライド移動可能となっている。案内溝31はハウジング11の底部に設けられた扉収納部32に連続している。すなわち、ドラム12に対して衣類を入れる際には、使用者が扉30の前面に設けられた把手30aを持って下方にスライドさせる



ことにより、扉30が案内溝31の前下辺端部に沿ってなだらかに屈折して一部が扉収納部32に収納され、これにより衣類出し入れ口13が開口されるようになっている。

【0033】図5ないし図7はそれぞれ扉30の位置の変化による開口状態を表すものであり、図5は扉30が全閉状態、図6は扉30が半開状態、図7は扉30が全開状態の場合をそれぞれ示している。図8は図5ないし図7の各状態に扉30を保持するための係止機構の一例を表すものである。すなわち、ハウジング11には扉30の両側に対向してそれぞれ凹部34が形成されている。凹部34には例えば板ばねにより形成された係合ばね35が収納されている。係合ばね35は基端部35aが凹部34の底部に固定され、その中間部が扉30側へ突出しており、係合部35aとなっている。さらにこの係合ばね35の先端部35cは基端部側に折り曲げられており、凹部34の内壁面に形成された先端収納部34aに対して出入り可能となっている。一方、扉30の両側部にはそれぞれ略V字状の位置決め溝33が形成されている。なお、これらの位置決め溝33と係合ばね35との組み合わせは上記全閉、半開、および全開状態に対応して3組形成されており、各状態に応じて扉30がスライド移動することにより係合状態の組み合わせが異なる。

【0034】なお、係合ばね35は板バネや線材等を用いて構成することができるが、その頂部に小ローラを回転自在に配置すれば、扉30を上下にスライドさせる際の扉30の側部との摩擦を軽減することができる。

【0035】次に、本実施例による衣類乾燥機の作用について説明する。

【0036】まず、乾燥対象である衣類を乾燥機内に入れるときには、扉30の把手30aを引き下げることで、扉30を全閉状態（図5（A）、（B））から半開状態（図6（A）、（B））にする。このとき、図8（A）から同図（B）に示したように、係合ばね35の係合部35bが下降してきた扉30の位置決め溝33に対して係合し、これにより扉30がその位置に保持される。この扉30が半開の状態では、衣類出し入れ口13の上半分のみが開放されており、この部分から衣類をドラム12内に投入することができる。このとき、衣類出し入れ口13の下方は閉じた状態になっているため、多量の衣類を投入する場合であっても、衣類が手前にこぼれ落ちてくるのを防止することができる。

【0037】衣類の投入が完了すると、把手30aを引き上げて扉30を全閉状態（図5）に戻した後、操作パネル27より乾燥動作の開始を指示する。それ以降の乾燥動作は第1の実施例の場合と同様であり、ここでは説明を省略する。

【0038】次に、乾燥の終了した衣類を乾燥機から取り出すときには、把手30aを下降させて、扉30を全

開状態にし（図7（A）、（B））、衣類出し入れ口13から衣類を取り出す。このとき、衣類出し入れ口13全体が開放状態になっているため、使用者はドラム12の底部（下方）まで見ることができ、衣類の取り残しなくなる。また、本実施例では、衣類出し入れは扉30の上下移動のみを伴うので、乾燥機の設置スペースが狭い場合でも開閉に支障がなく、衣類の出し入れが容易となる。また、本実施例では、扉30の停止位置を全開状態、半開状態および全開状態の3つとしたが、この他にいくつかの半開状態を設定してもよく、さらに、任意の位置での半開状態を可能とするように構成してもよい。

【0039】なお、上記実施例においては、1の扉30を設けるようにしたが、図9に示したようにスライド式の扉を、把手40aを備えた上扉40および把手41aを備えた下扉41に2分割し、それぞれ個別にスライド可能とするようにしてもよい。すなわち、上扉40は把手40aを持って引き上げることで上方に開き、下扉41は把手41aを持って引き下げることで下方に開くようにする。そして、衣類投入時は上扉40のみを開ける一方、衣類取り出し時は上扉40および下扉41の双方を開けるようにすれば、衣類の出し入れ時のこぼれ落ちおよび取り残しを有効に防止することができる。

【0040】さらに、上記実施例においては、スライド式の扉を上下方向に開閉可能としたが、図10に示したようにスライド式の扉を把手42aを備えた上扉42および把手43aを備えた下扉43に2分割し、それぞれ個別に水平方向にスライドさせるようにしてもよい。このような構成によっても上記実施例と同様の効果を奏する。

【0041】また、上記実施例ではいずれも、扉30の開閉を手動で行うこととしたが、扉30を巻き取り式とし電動モータにより自動的に開閉を行うようにしてもよい。

【0042】なお、以上説明したすべての実施例は、ガスを用いた衣類乾燥機に限らず、電気を用いた衣類乾燥機にも適用することができるのはいうまでもない。

【0043】

【発明の効果】以上説明したように請求項1ないし7記載の衣類乾燥機によれば、衣類取り出し口を全開状態および半開状態に設定することができるようにしたので、比較的高い位置に設置された場合でも、衣類投入時のこぼれ落ちと衣類取り出し時の取り残しを共に防止することができるという効果を奏する。

【0044】特に、請求項3ないし請求項7に記載の衣類乾燥機によれば、扉を上下または左右に開閉するスライド方式としたので、上記効果に加え、狭い場所であっても容易に衣類の出し入れをすることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例に係る衣類乾燥機の概略

構成を表す断面図である。

【図2】図1の衣類乾燥機の正面図である。

【図3】図1の衣類乾燥機の外観斜視図である。

【図4】本発明の第2の実施例の衣類乾燥機の概略構成を表す断面図である。

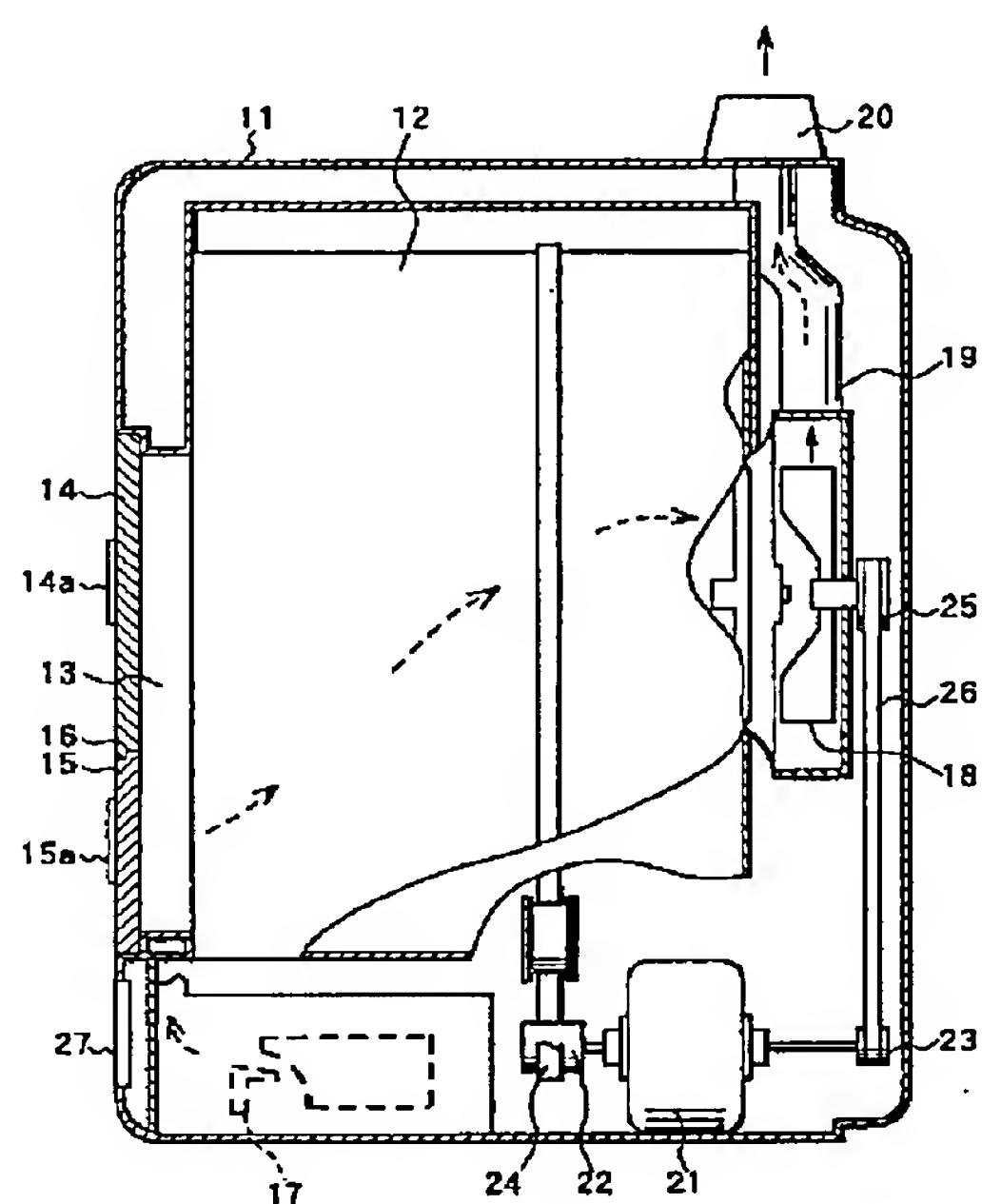
【図5】図4の衣類乾燥機の扉が全閉時の状態を表す正面図および部分断面図である。

【図6】図4の衣類乾燥機の扉が半開時の状態を表す正面図および部分断面図である。

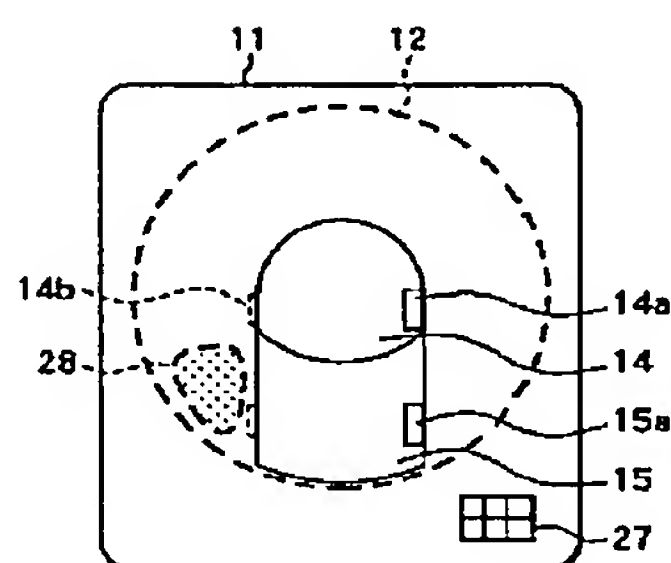
【図7】図4の衣類乾燥機の扉の全開時の状態を表す正面図および部分断面図である。

【図8】図4の衣類乾燥機における扉の位置決め保持機構を説明するための図である。

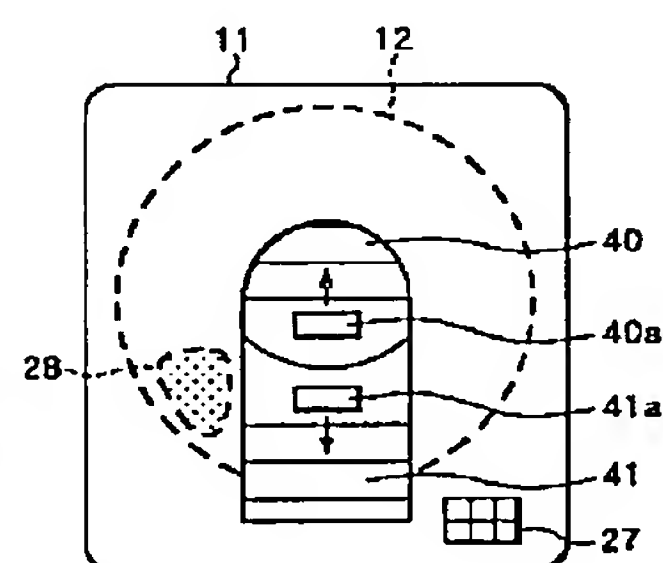
【図1】



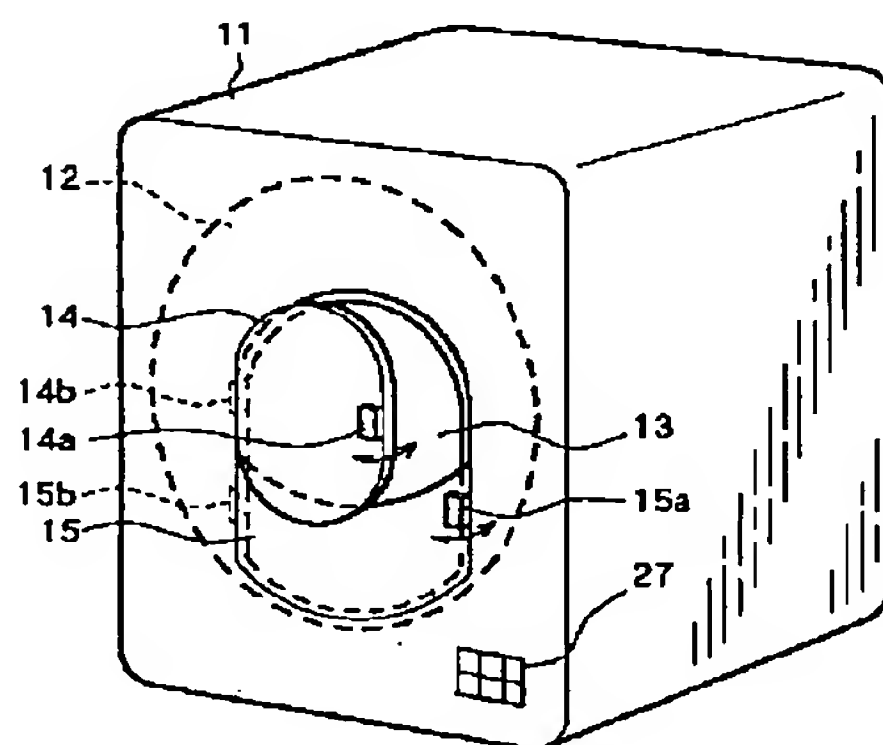
【図2】



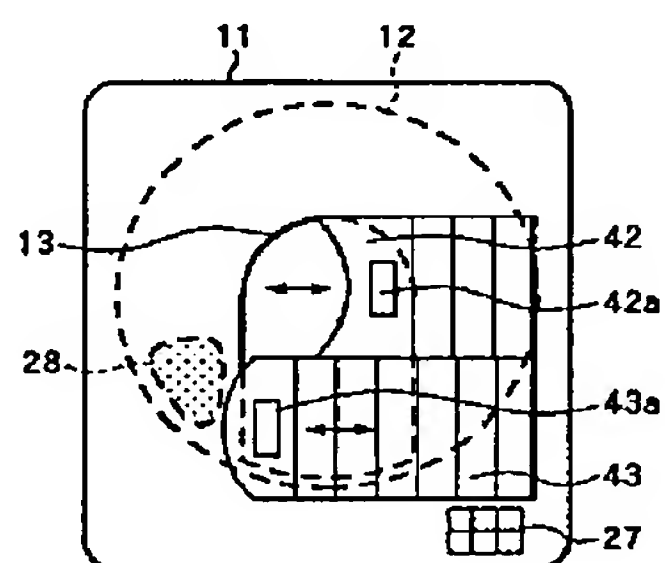
【図9】



【図3】



【図10】



\*【図9】本発明の第2の実施例の変形例を説明するための正面図である。

【図10】本発明の第2の実施例の他の変形例を説明するための正面図である。

【図11】従来の衣類乾燥機の外観斜視図である。

【符号の説明】

11 ハウジング

12 ドラム

14 上扉（開閉式）

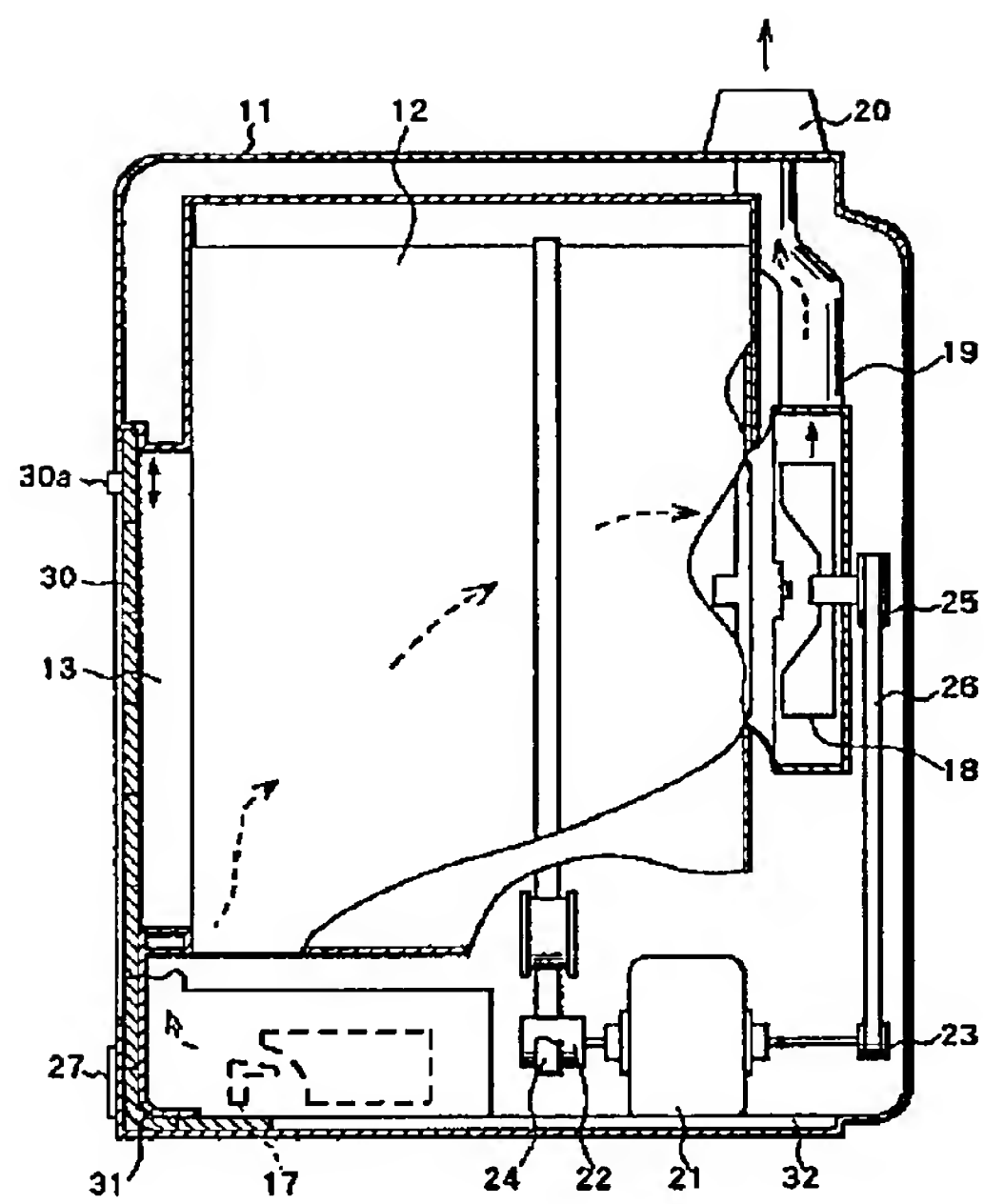
15 下扉（開閉式）

30 扉（スライド式）

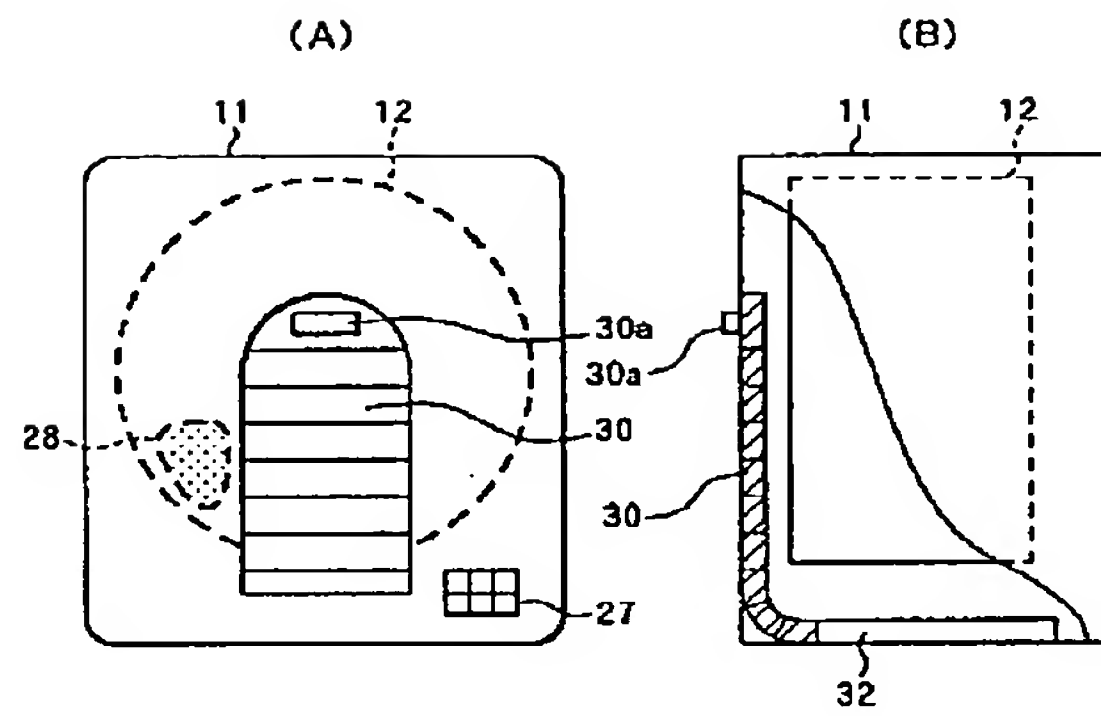
40, 42 上扉（スライド式）

\* 41, 43 下扉（スライド式）

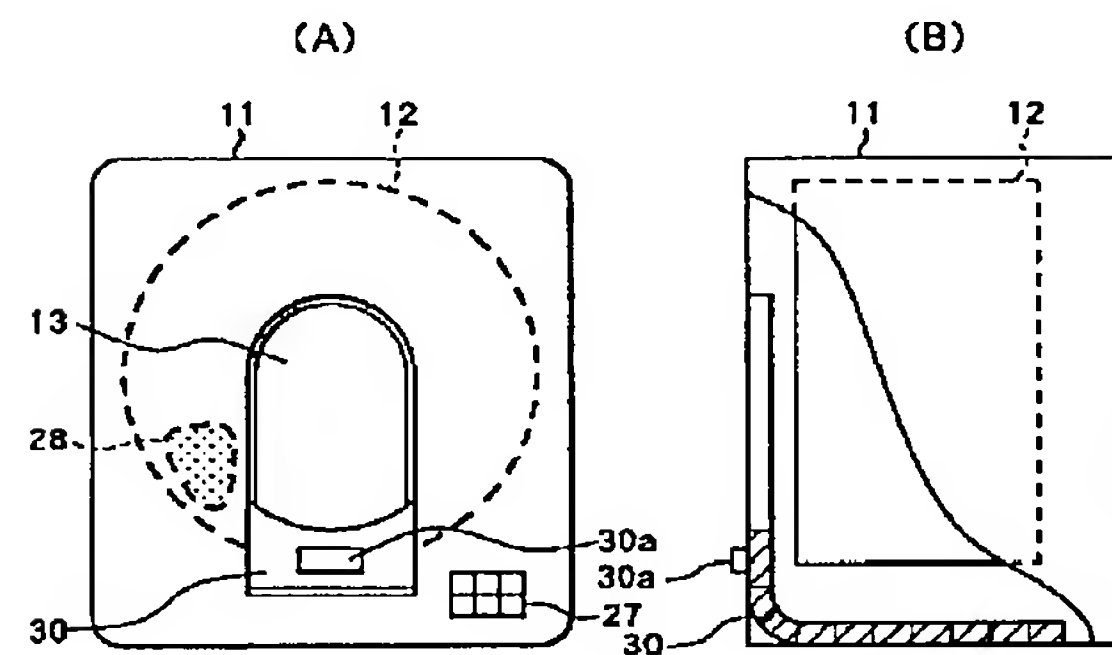
【図4】



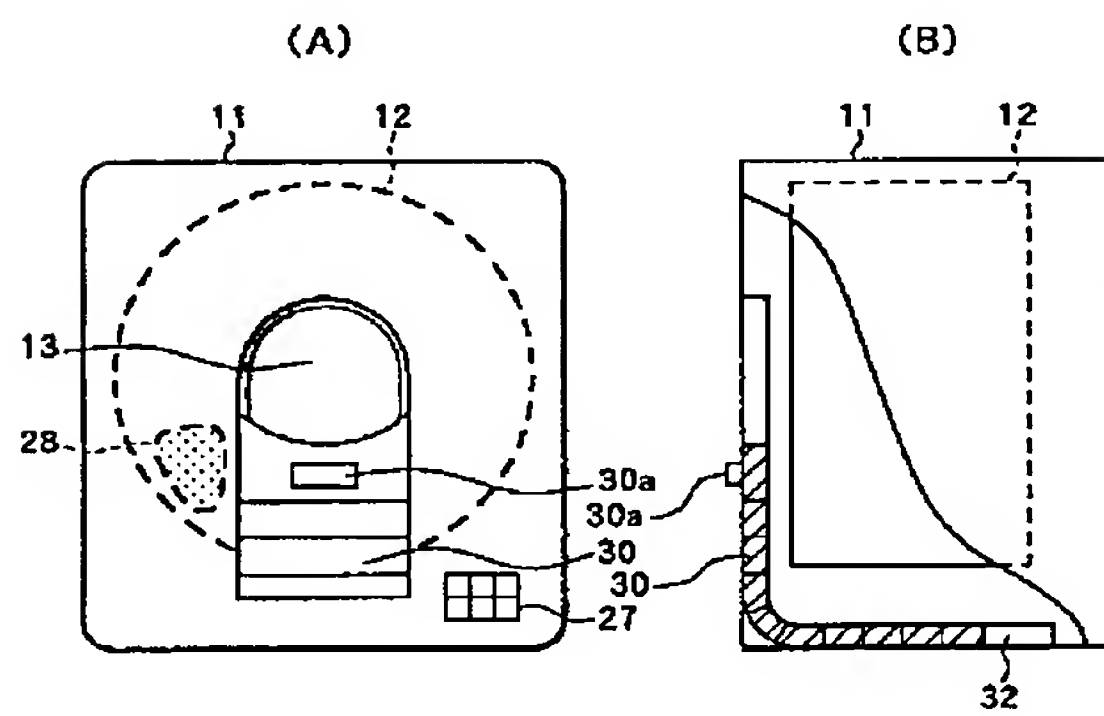
【図5】



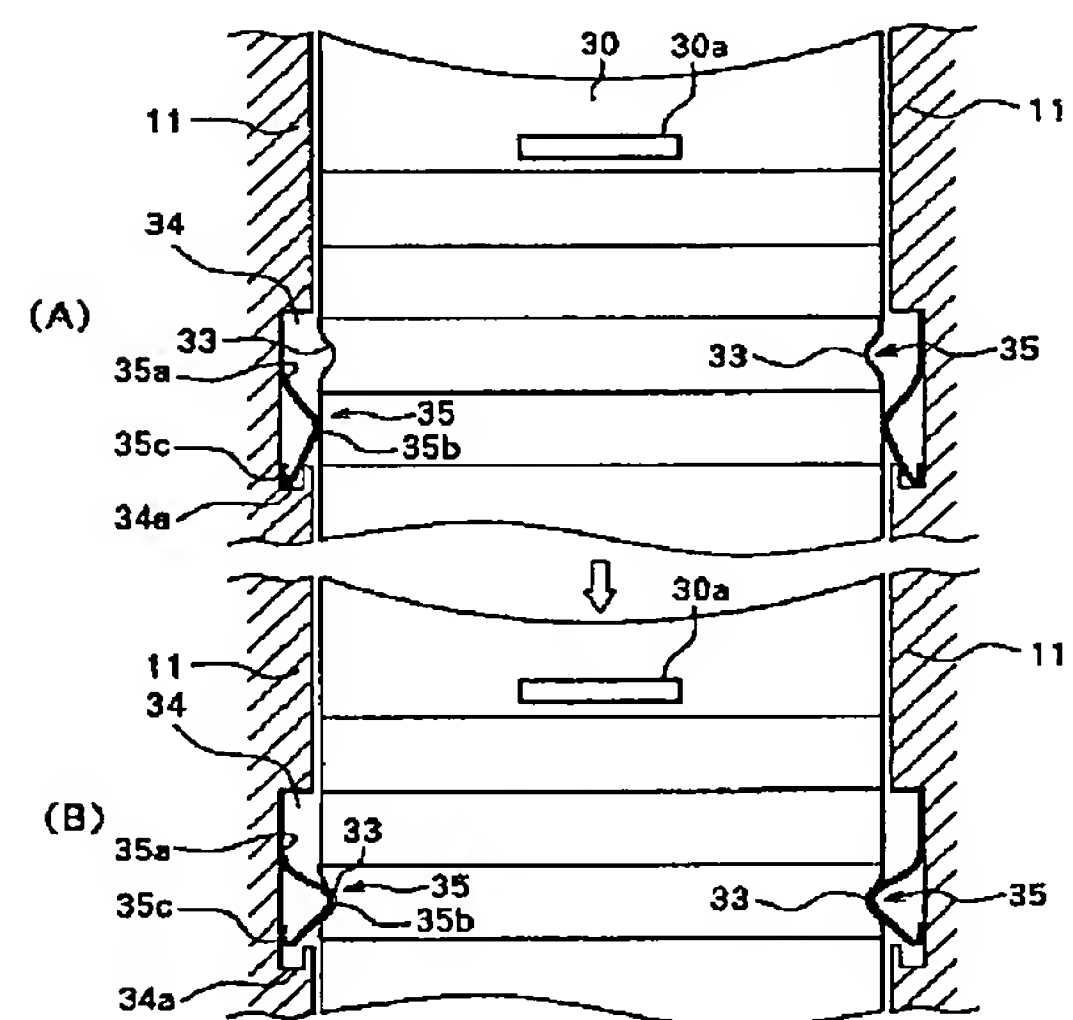
【図7】



【図6】



【図8】





【図11】

